

- 記者発表資料 -

海洋・港湾技術の早期実用化に向けた 実証試験の公募の開始について(平成30年度)

先般、平成30年3月9日に産官学の連携による海洋・港湾技術の早期実用化に向けた「海洋・港湾技術実用推進協議会(第3回)」が開催され、平成30年度も引き続き京浜港ドックでの一般公募を実施することが確認されました。

これを受けて、平成30年度の京浜港ドックを活用した実証試験の一般公募を開始します。

1. 公募課題

- (1) 効率的な港湾工事の施工技術
- (2) 航路啓開における測深・海底状況把握技術
- (3) 遠隔離島における海洋・港湾土木技術
- (4) 海中における遠隔操作を可能とする有用な技術
- (5) 海洋における有用な調査技術
- (6) 海洋資源調査技術 等

2. 公募の概要

実証試験に必要な経費は、応募者の負担でお願いします。詳細については、下記ホームページに掲載している公募要領等を確認の上、応募をお願いします。

<http://www.pa.ktr.mlit.go.jp/kyoku/03info/01oshirase/20180411/20180411.html>

3. 公募期間

平成30年4月18日(水)～平成30年5月23日(水)

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、横浜海事記者クラブ

お問い合わせ先

関東地方整備局 港湾空港部

海洋環境・技術課 課長

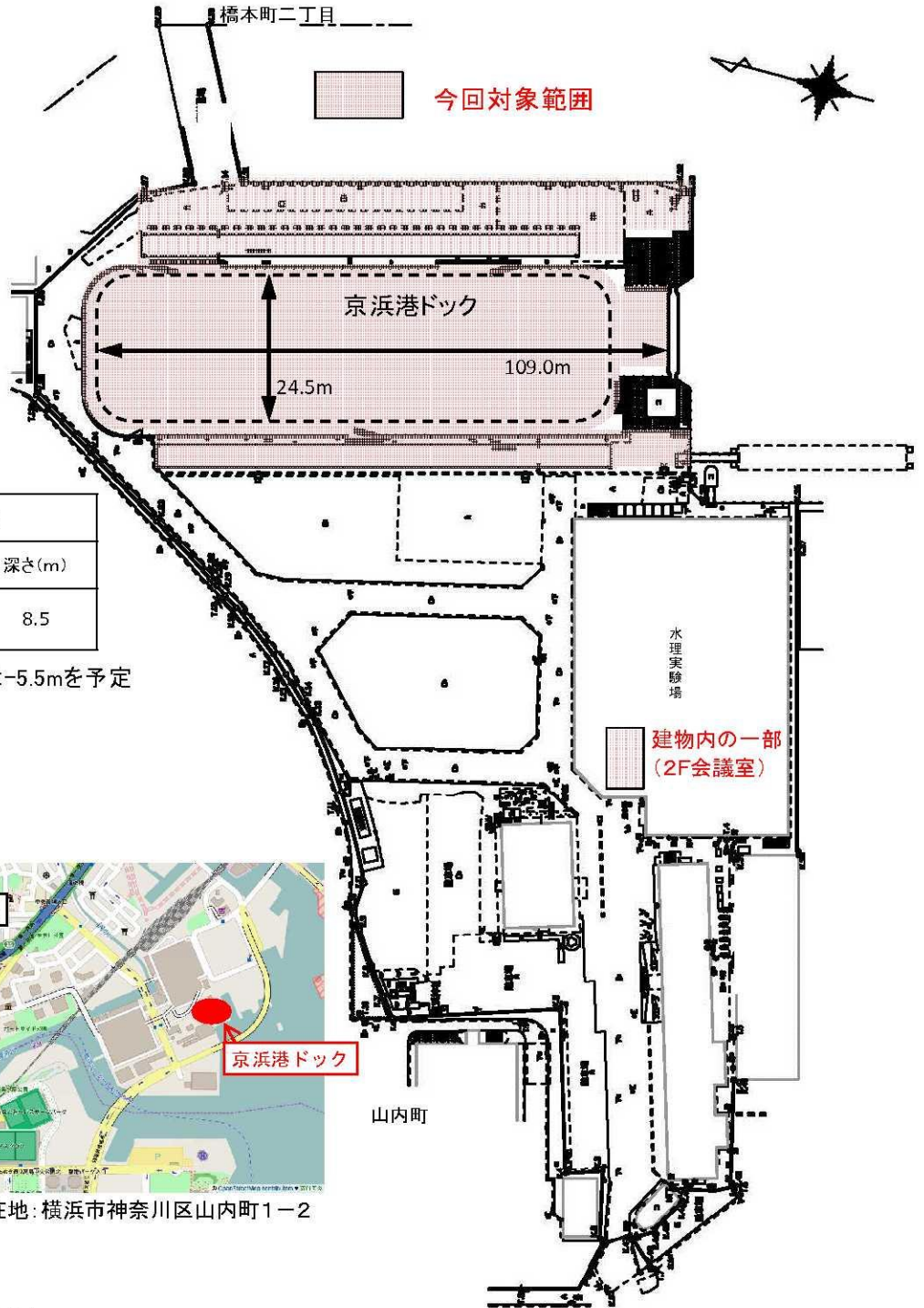
課長補佐

係長

たかはし やすひろ
高橋 康弘
くぼ てつや
久保 哲也
すが たかし
菅 崇

電話 045-211-7420 FAX 045-211-0204

京浜港ドックの概要



○施設諸元

京浜港ドック施設諸元		
長さ(m)	幅(m)	深さ(m)
109.0	24.5	8.5

※ 実験における水深は-5.5mを予定

○場所



所在地: 横浜市神奈川区山内町1-2

○京浜港ドックの実験例



H29.9 ドック内撮影【ドライ時の実験準備状況】



H30.2 ドック内撮影【注水時の実験状況】